

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年5月31日

1 事業名	健診推進事業	コード	3104
-------	--------	-----	------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	上原 幸代
--------	----	-------	----	-------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	保健・医療の推進	施 策	健康づくりの推進
		予算科目	健診推進事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	健康増進法、がん対策基本法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	各種健診（後期高齢者健診、成人歯科健診、緑内障検診等）を実施する。 各種がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）を実施する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	疾病の早期発見と早期治療並びに疾病の予防を図る。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>・胃、大腸、肺のがん検診及びABC検診、肝炎ウイルス検査を岡谷市民病院に委託し、同一会場で実施した。また、肺がんCT、乳がん検診を長野県健康づくり事業団に委託し、保健センター、支所、各区公会所、市内医療機関（子宮頸がん）で実施した（受診者数 胃がん751人、大腸がん1,773人、肺がん1,130人、肺CT414人、乳がん1,505人、子宮頸がん1,102人、ABC検診87人、肝炎ウイルス検査82人、結核健診67人）。</p> <p>・基本健診を長野県健康づくり事業団に委託して、受診機会の少ない35～39歳の市民を対象に保健センターで実施した（受診者数51人）。</p> <p>・後期高齢者健診を岡谷市医師会に委託し、市内医療機関で実施した（受診者数740人）。後期高齢者人間ドックを市内4医療機関に委託し、また、それ以外の医療機関で受診した者に補助し、健康増進を図った（委託 日帰り113人、1泊2日18人、補助 日帰り87人、1泊2日8人）。</p> <p>・成人（40・50・60・70歳）、三十歳、二十歳及び妊婦の歯科健康診査を岡谷下諏訪歯科医師会に委託し、下諏訪町と相互乗り入れで市町内の歯科診療所で実施した（受診者数 成人162人、三十歳 33人、二十歳 54人、妊婦 51人）。</p> <p>・緑内障検診を岡谷市医師会に委託して、市内医療機関で実施した（受診者数672人）。</p>		
前年度の課題への対応	<p>・胃、大腸、肺がん検診、ABC検診及び肝炎ウイルス検査をセット検診として同一会場で実施した。</p> <p>・基本健診を国保の日曜日健診（1日）と合わせて実施するとともに、がん検診（胃・大腸・肺CT）を日曜日（1日）に実施した。</p>		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 活動指標（指標名）	年間総受診者数				単位 人
	実績値	9,120	8,983	8,805	
	*指標の説明	がん検診等の受診者数			
② 成果指標（指標名）	がん検診の要精検者の受診率				単位 %
	目標値	95	95	95	95
	実績値	88	88	88	
	達成度	92.6%	92.6%	92.6%	
	*指標の説明	がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）の精密検査対象者の精密検査受診率の平均値			
	*目標値の設定方法の説明	第4次岡谷市総合計画目標で掲げた目標値			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	46,751,365	47,702,360	49,648,985	56,838,000
経常経費	46,751,365	47,702,360	49,514,356	56,540,000
臨時的経費	0	0	134,629	298,000
* 臨時的経費の説明	妊婦歯科健康診査に係る経費			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000
正規職員の人数(人)	0.58	0.58	0.58	0.58
③ 合計コスト(①+②)	51,391,365	52,342,360	54,288,985	61,478,000
前年度比		101.9%	103.7%	113.2%
財源				
一般財源	42,211,951	41,950,430	43,166,741	45,393,000
内訳				
特定財源	9,179,414	10,391,930	11,122,244	16,085,000
* 特定財源の説明	県補助金、検診徴収金、広告料収入、後期高齢者広域連合補助金・交付金			
④ 活動一単位あたりコスト	5,635	5,827	6,150	
前年度比		103.4%	105.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
人間ドック補助金	件数	26	37	37	40
	金額	450,000	690,000	690,000	750,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	450,000	690,000	690,000	750,000
	割合	0.96%	1.45%	1.39%	1.32%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	92.6%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 死因の1/3を占める「がん」の早期発見、早期治療を行うため、受診率の向上を図る。また、歯科健康診査の受診率が低いこと、年齢が若くなるほど受診率が低下することから、受診率の向上を図る必要がある。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 受診率向上のため、市民への周知、啓発に努めるとともに、より受診しやすい健診体制の研究を引き続き行う。基本健診及びがん検診の日曜日の実施を継続する。また、インセンティブとして、がん検診受診者や健康に関する講演会参加者に健康ポイントを付与する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---